



市民施設見学会が終了しました



平成29年8月2日（水）、ふらの市民環境会議と富良野市主催の環境関連施設見学会が開催され、ふらの市民環境会議の会員11名と市民17名の方が参加されました。

今回の市民施設見学会は、「富良野生活圏資源回収センター」と「旭川プラスチック再生センター」を見学してごみの分別・減量やリサイクルなど環境にやさしいライフスタイルについて考える機会となりました。

また、ペーパン川流域の蛇行を見て、家次代表から水圏生物保全について説明を受け、くるみなの木遊館では木育推進・木育教育について学びました。

上野ファームではガーデニングを通して潤いのある快適な暮らしと美しいまちづくりについて学びました。

富良野生活圏資源回収センター見学の様子

中富良野町役場生活環境係 越湖 啓さんから、富良野生活圏資源回収センター事業の内容について説明を受けました。

この施設は、平成15年3月に竣工し、沿線5市町村の容器包装リサイクル法で再資源化を義務づけられている廃プラスチック、ペットボトル、空きびんの3種類について中間処理を行う施設です。

手作業で異物を取り除いている行程を見て、参加者から「きちんと分別をしなければいけない。」と感想を言われていました。

ペットボトルは、ラベルを剥がしてプラスチックで排出するように取扱いが変更になったことを説明し、参加者に理解を求めました。



旭川プラスチック再生センター見学の様子

田中石灰工業株式会社 旭川プラスチック再生センター長 鶴田敏幸さんから、会社の事業内容及びプラスチック製容器包装の再生処理工程についての説明を受けました。

この施設は、容器包装プラスチックを素材ごとに分別し、高品質な再生ペレット（プラスチック原料）の製造を行っています。

工場の中、解砕、風力・光学選別、破碎、洗浄・比重分離・脱水、乾燥、配合等RPF製造設備のラインを流れ、最終的にTSペレット（PEペレット）に加工され、園芸ポット、卵容器、ポリドーナッツ等の身近な製品の原料として販売されています。



ペーパン川見学の様子

家次代表からペーパン川の蛇行を見て、水圏生物の生態系についての説明を受けました。

計画的に柳等の木を伐採することで、川が蛇行して土砂が堆積し、魚の産卵に適するようになり、魚が戻り始め、「ヤマメ」「サクラマス」などの魚が住むのに適する川になりました。木を切る行為は自然破壊のように感じるかもしれませんが、目的を持って計画的に行うことで、生態系に好循環を生むようになるとの説明を受けました。



くるみなの木遊館見学の様子

くるみなの木遊館は、障がい者の就労の場と木育を推進する拠点施設として、当麻町が国の地方創生事業補助金を得て建設したもので、昨年は 24,000 人もので来客があったそうです。木育教育推進のため、木の玩具で遊ぶことの出来る「木育広場」や「木工加工室」「研修室」を見学しました。



上野ファーム見学の様子

当日は好天に恵まれて30℃近くまで気温が上がりました。

上野ファームの庭は英国の庭作りから学びながら、北海道らしさを大切にした「北海道ガーデン」です。参加者のみなさんが思い思いにファーム内を散策して、心癒される時間を楽しみました。

